



NNA JAPAN CO., LTD.

〒105-7209 東京都港区東新橋1丁目7番1号 汐留メディアタワー9階
Tel : 81-3-6218-4330 Fax : 81-3-6218-4337 E-mail : sales_vn@nna.asia

KDN PP 11802/03/2012(029010) MDDI(P) 049/03/2025

ターゲットは日本市場 ベトナムウエハーの挑戦（下）

ベトナム半導体企業ベトナムウエハー（ホーチミン市）は半導体の国産化の基盤づくりに続き、海外展開で日本市場を最重要視する。2024 年に東京に現地法人を設立し、品質要求が厳しい市場で信頼の獲得を狙う。米国や韓国にも拠点を構え、国際基準の品質試験体制を国内に整えることで、生態系（エコシステム）の強化を進める。短期資金より戦略的パートナーを重視する姿勢を貫き、ベトナム発の素材メーカーとして国際的な地位を築こうとしている。

自立する ベトナム半導体

シリコンウエハーのバリューチェーン

①高純度石英
(HPQ)

③インゴット



②石英るつぼ



④ウエハー



ベトナムウエハー提供

ベトナムウエハーは、石英からシリコンウエハーまでを一貫通貫する供給網づくりを目指している。石英を高純度石英（HPQ）に精製して石英るつぼ（溶解容器）を作り、インゴット（塊）を鋳造後、円盤状に加工してシリコンウエハーに仕上げる。この一連の半導体前工程では、どの段階でもコストの安定化、品質の確保、持続的な供給体制が成功の鍵を握る。

一貫生産に向けたロードマップ（行程表）は段階的だ。24 年に相手先ブランドによる生産（OEM）を通じて HPQ の生産に成功。27 年に石英るつぼ、28～30 年にインゴットとウエハーの国産化を、それぞれ目指す。

ウエハーは直径 6 インチ（約 150 ミリメートル）がターゲットだ。世界では 8 インチや 12 インチが主流で 6 インチは先端ではないが、電力制御に使うパワー半導体

用途では依然として需要が高く、競争も激しくない。チャウ・ホアン・ロン最高経営責任者（CEO）「われわれは最初からハイエンドで勝負するつもりはない。6 インチ市場で信頼を築くことが第一歩になる」と、現実的な選択をした。

東京に現法設立



石英の鉱床を探すロンCEO（本人提供）

海外展開の最優先は日本だ。東京に現地法人を設立し、最も厳しい品質要求に挑む。ロン氏「日本は最も厳しい市場だが、だからこそ一度信頼を得れば揺るがない関係になる」と話す。既に提供した HPQ のサンプルは 6 N（99.9999%）規格を満たし、複数回の試験で安定性を示したという。半導体関連事業者だけでなく、顕微鏡用やカメラ

用ガラスなどフォトニクス事業者を顧客として開拓することを狙う。6 インチのシリコンウエハーは日本のパワー半導体メーカー向けへの供給を目指す。

さらに地域ではマレーシアを意識する。同国は世界的な後工程の拠点として産業基盤を先行させているが、前工程はまだ発展途上。ロン氏は「まず追いつきたい」と語る。マレーシアは直接の供給先ではないが、国内産業

の底上げを考える上でベンチマークとなる存在だ。インドも政府が半導体産業育成を進めており、将来的には素材やウエハーの新たな需要地になると見込む。

米国と韓国にも拠点を設け、市場調査や技術連携を進める。さらにベトナム地場で後工程に参入したばかりの C T セミコンダクター (C T S) と協力し、ベトナム国内に国際基準の品質試験体制を整備中だ。C T S は、ベトナム地場初の 100% 資本による半導体後工程請負企業 (O S A T) を目指しており、クリーンルーム付きの組み立て・パッケージ工場を年内に完成させる予定だ。C T S との協力を通じて評価リードタイムを短縮し、国産エコシステムの強化につなげる。

資本政策でも短期資金より戦略的一致を優先する。「短期資金に頼れば軸はぶれる。資本の質を選ばなければならない」とロン氏は強調した。

競合には石英るつばメーカーのシベルコ (ベルギー) やクオーツ・コーポ (ノルウェー)、H P Q メーカーのロシアン・クオーツ (ロシア) が存在する。ロン氏は「彼らは巨大だが、ベトナムの資源を持ってはいない。われわれは地の利を活かし、上流から積み上げて競争していきたい」と語った。(本連載は坂部哲生が担当しま

した)

<N N A の視点>

ベトナムにウエハーの製造会社があると聞いたときは耳を疑った。さらに驚かされたのは、経営トップ自らが現場に赴き、石英の鉱床を探し当て採掘していたことだ。

ロン C E O の話を聞く中で見えてきたのは、資源を起点に国産化へ挑む現実的でしたたかな戦略だった。高額投資を要する最先端ではなく、まずは 6 インチ市場で信頼を築く方針は理にかなう。しかも政府の税制優遇や研究開発支援、地場 O S A T 企業との連携など、国内エコシステム形成の芽が育ちつつある。

ベトナムウエハーが最初の試金石とするのが日本市場だ。品質要求が最も厳しい市場で信頼を得られるか否かが、ベトナム発の素材メーカーとしての存在感を決める。

NEWS HEADLINES

【I T】ターゲットは日本市場
【社会】ハノイなど大雨、都心部でも冠水
【車両】自動車登録料 30% 減額、電子 I D とひもづけも
【経済】26 年最低賃金、地域区分を一部調整
【経済】一時輸入と再輸出の規制強化、抜け穴ふさぐ
【医薬】医薬品卸アルフレッサ、越企業に資本参加
【商業】イオン、フンイエン省に総合スーパー初出店
【鉄鋼】ナムキムが追加投資、屋根材鋼板を製造
【公益】ビンエネルギー、洋上風況データ転送で協力
【公益】E V 用電力料金の優遇拡大を、ビン G 系
【公益】E V N、第 2 L N G 火力発電所の手続き加速
【車両】T A S C O オート、英ロータス車を正規販売
【建設】マレーシア U O A、ホーチミン市で土地取得
【金融】I P O と上場申請を同時審査、国家証券委
【経済】サッカー賭博の試験解禁へ、財務省が政令案
【社会】トゥアンアンなど 22 件処分は年内に、書記長

1 【政治】書記長がロシア下院議長と会談、友好推進 8
3 【経済】インベストアジア 20 号発刊、サフェックス 8
3 【経済】特定技能が過去最多、4 割がベトナム人 8
4 【社会】外免審査が厳格化、観光客適用外 9
4 【製造】イブシロン S 設計変更、越人工衛星に影響も 9

その他アジア情報

5 【製造】セメント協会、輸入制限による価格上昇否定 9
5 【経済】日本の外国人労働環境批判、「対策不十分」 10

特集

6 【ベトナム経済統計】 11
6 【インサイド A S E A N】第 6 回 12
6 【グラフでみる A S E A N】消費者物価指数 (8 月) 13
7 【マーケット】株式 2025/09/30 14
7 【マーケット】為替 2025/09/30 (日本時間 19 時 30 分) 15



テイクオフ

(碩) 1 年前にタイで始めたゴルフ。ベトナムに来てても下手ながら続けている。ゴルフを通じて学んだことは多い。例えば、力任せに振るよりも、ドライバーやアイアンなど各クラブの持つフェース面の角度と設計を素直に生かすことが大事だ。「コーン」という乾いた心地よい響きとともに、球はきれいにまっすぐ飛んで行っていく。結局、こちらが一方的に頑張るのではなく、「各クラブに仕事をしてもらう」という感覚が大切なのだろう。

また、ゴルフにはミスがつきもの。クラブに入れても、落ちて置いて打ち直せばフェアウエーに戻る。仕事も同じで、ミスをするとき持ちはへこんでしまうが、いすから立ち上がって軽くストレッチするなど一歩引いて仕切り直す方が結果につながる。

力を抜き、失敗は引きずらない。ゴルフで得たその感覚を大切にすれば仕事での成果も上がりそうな気がする。

TAKE OFF